

iコンピテンシー			1 不十分である	2 やや不十分である	3 おおむね身につけている	4 十分身につけている
I 情報分析活用 力	I-1	1 課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。	課題解決のためにどのようなことを調べたらよいか、自分で考えることが難しい	課題解決のためにどのようなことを調べたらよいか、自分で考えることができる	課題解決につながる必要な情報を、具体的な根拠を踏まえて考えることができる	どのような情報を組み合わせれば課題解決できるかを考えながら、複数の必要な情報を挙げるることができる
	I-2	6 情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる。	インターネットでの検索以外に情報収集の方法を考えることが難しい	インターネット以外にも図書館などで本を探して情報を収集することができる	目的や仮説などを踏まえて、複数のメディアを活用する方法・手段を考えることができる	統計データの活用や専門家への聞き取りなどといった情報収集の方法・手段を考えることができる
	I-3	11 情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。	課題解決に必要な情報を組み合わせることが難しい	与えられた情報であれば組み合わせることができる	どのような情報が必要かを考えながら、自分で情報を組み合わせることができる	課題解決に必要な情報を複数収集し、どのように組み合わせれば課題解決に繋がるかを考えながら、情報を活用することができる
	I-4	16 情報の真偽を判断し、確かな情報に基づいて結論を導くことができる。	自分が知らないことについてきちんと調べて情報の真偽を判断することが難しい	インターネットや本で調べた情報を基にして、情報の真偽を判断することができる	複数のメディアを活用して集めた情報を基にして、情報の真偽を判断して結論を考えることができる	真偽を判断するために必要な複数の情報を組み合わせて結論を導くことができる
	I-5	21 集めた情報を表やグラフ等を用いて数量的に表すことができる。	コンピュータを活用して表やグラフを作成することが難しい	コンピュータを活用して簡単な表やグラフを作成することができる	グラフには単位や数値が必要であることを理解しており、グラフ内に単位や数値をきちんと表示することができる	どのような表やグラフであれば集めた情報を適切に数量的に表すことができるか判断することができる
II 論理的思考 力	II-1	2 物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。	物事の全体の構成を大まかにつかむことができない	物事の全体の構成をとらえることはできるが、結論を導き出すことは苦手である	物事の全体の構成を正しくとらえ、結論を導き出すことができる	物事の全体の構成を正しくとらえ、そこから誰もが納得できる結論を導き出すことができる
	II-2	7 他者の主張に対して、誤りの有無を判断することができる。	他者の主張に対して、誤りの有無を判断することが難しい	他者の主張に対して、誤りの有無を判断することはできるが、その根拠をはっきりと説明することができない	他者の主張に対して、根拠をあげて誤りの有無を判断することができる	他者の主張もふまえながら、根拠をあげて誤りの有無を説明することができる
	II-3	12 自己の主張に対して、必要な根拠を示すことができる。	自己が主張したいことについて、必要な根拠を示すことが難しい	自分の主張を説明することはできるが、反論に対して、自らの主張の正当性を主張することができない	根拠を示して自分の主張の正当性を説明することができる	きちんと裏付けられた根拠をもとに、自分の主張の正当性を説明することができる
	II-4	17 「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。	筋道を立てて自分の考えを組み立てることができない。	自分の考えを筋道を立てて組み立てようとするが、説明することが難しい。	自分の考えを筋道を立てて説明できる。	自分の考えを「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て、結論を説明できる
	II-5	22 「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。	人に説明するとき、結論は述べることはできるが、その理由や具体例まで話すことはできない	人に説明するとき、結論とその理由を述べることはできるが、その具体例まで話すことはできない	人に説明するとき、「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる	人に説明するとき、「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話し、相手を納得させることができる
III コミュニ ケー ション 力	III-1	3 周囲の雰囲気を感じ取り、発言しやすい環境を自ら率先して作り出す。	相手の話を聞くことができず、相手の発言に対してうなずきやあいづちをすることが難しい	相手の話を聞くことはできるが、相手の発言に対してうなずきやあいづちをすることが難しい	相手の発言に対して、うなずきやあいづちをしながら話を聞くことができる	会話のスピードを相手に合わせ、相手の話を要約して繰り返すことができる
	III-2	8 自分と相手の考えの共通点・相違点を発見し、論点を明確にして話し合うことができる。	話し合いの際に、自分と相手の考えや共通点を発見したり、論点を明確にすることができない	話し合いの際に、論点は明確にできるが、相手の考えの状況や背景を把握して発言できない	話し合いの際に、論点に対して相手の考えの状況や背景を把握したうえで発言できる	話し合いの際に、お互いの考えの共通点・相違点を発見し、論点を明確にして話し合うことができる
	III-3	13 対話による議論ができ、意見をまとめることができる。	自分の主張は持っているが、議論することができない	自分の考えを持っており、話し合いの最後に意見をまとめようとするが、まとめることができない	相手の意見を踏まえた自分の考えを持っており、話し合いの最後に意見をまとめることができる	ホワイトボード等を用いてお互いの意見を見える化し、全員で合意に向けてまとめることができる
	III-4	18 伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。	話し合いをした後、相手に何が伝わったかを確認しない	話し合いをした後、相手に何が伝わったのかを確認できる	相手の知識や理解度を把握しようとしており、数字や比較や5W1Hを取り入れた説明をすることができる	相手の知識や理解度を把握したうえで、内容をよく検討して正確で効果的に発表ができる
	III-5	23 自分の意図する方向へ相手を導き、行動を促して相手の協力を得ることができる。	具体的な協力方法を示すことができず、「誰か手伝ってください」という依頼しかできない	具体的な協力方法を示して、「〇〇さん手伝ってください」と依頼ができる。	相手に依頼して協力してもらうことができる	相手を認め、お互いの気持ちを理解したうえで協力してもらうことができる
IV 自律的 に行動 する 力	IV-1	4 自ら役割を選び取り、目標を設定しようとする。	与えられた役割を理解することができず、仕事をうまくこなせないことが多い	与えられた役割について、自らの役割は理解しているが、マニュアル通りの動きしかできない	与えられた役割について、自らの役割を理解したうえで、適切な目標を設定することができる	自ら進んで役割を選び取り、適切な目標を設定することができる
	IV-2	9 目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。	目標を立てることが苦手で、行き当たりばつりの行動をとることが多い	目標を立てることはできるが、それを達成するための計画を立てて行動することができない	目標を立て、それを達成するための計画を立てて行動することができる	目標を達成するために計画を立てて行動し、うまく行かない場合には、その計画を修正しながら行動することができる
	IV-3	14 積極的に責任を引き受ける態度をとろうとする。	責任ある仕事はまったく引き受けたくない	責任ある仕事でも、少しは引き受けようとする	人から頼まれれば、責任ある仕事を引き受ける	人から頼まれなくても、自分の方から積極的に責任ある仕事を引き受ける
	IV-4	19 自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。	判断を迫られた場合、自ら判断することが難しい	自ら判断をすることはできるが、その判断に沿って対応することは難しい	自ら判断し、その判断に沿って対応することができるが、状況が変化したときに対応することができずに困ることがある	自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応することができる
	IV-5	24 目標の実現に向け、倫理的に行動しようとする。	自分の都合で行動することが多い	ルールやマナーがあることはわかっているが、それが守れないことがある	ルールやマナーをよく理解しており、それらを守ろうとしている	常にルールやマナーを守って行動し、決して倫理に外れたことはしない
V 垣根 を越 える 力	V-1	5 自分の限界に挑戦しようとする。	色々なことに挑戦することが苦手で、難しいと感じたことはすぐにあきらめてしまう	色々なことに挑戦しようとする意欲はあるが、具体的な行動にはなかなか結びつかない	時には自分の限界に挑戦することができる	自分の力をよく理解した上で、自分の限界に挑戦し、最後まであきらめず行動できる
	V-2	10 立場を乗り越えて仲良くしようとする。	所属や学年などが違う人と意見を交わすことが苦手である	所属や学年などが違う人と意見を交わすことはできるが、理解しようとはしない	所属や学年などが違う人と意見を交わすことができ、積極的に理解しようとする	自分と相手の所属や学年等の違いを理解し、様々な立場を乗り越えて積極的に仲良くしようとする
	V-3	15 様々な研究資源（人・モノ・情報）を活用しようとする。	周りにどのような研究資源（人・モノ・情報）があるかわからない	周りにどのような研究資源（人・モノ・情報）があるかはわかるが、それらを活用することができない	人に活用の仕方を教えてもらえれば、学校、学科や学年の垣根を越えて、資源（人・モノ・情報）を活用することができる	学校、学科や学年の垣根を越えて、自ら進んで様々な資源（人・モノ・情報）を探し出し、積極的に活用することができる
	V-4	20 意見が異なる人とも協力し、お互いの良さを活かし合う関係を築いていこうとする。	意見が異なる人とは協力することが苦手である	意見が異なる人の話にも一応耳を傾けるが、協力して物事を進めるのは苦手である	意見が異なる人の話を聞いて理解し、協力することができる	意見が異なる人とも協力し、お互いの良さを活かし合う関係を築くことができる
	V-5	25 色々な考えを持ち寄り、よりよい考えに発展させたり、アイデアを誕生させようとする。	自分以外の人の色々な考えをあまり聞こうとしない	自分以外の人の色々な考えを聞くことはできるが、それを整理し、自分の考えに活かすことができない	自分以外の人の色々な考えを持ち寄り、それを整理し、自分の考えに活かそうとすることができる	自分以外の人の色々な考えを持ち寄り、自分の考えを発展させたり、新しいアイデアを生み出すことができる